

わたしのまちの健康プロフィール(北部圏域)

【北部保健所作成(令和3年4月)】

1 管内の概要

中津市
面積 491.44km²
人口 82,683人
(男40,235人 女42,448人)
世帯数 37,728
高齢化率 30.4%

宇佐市
面積 439.05km²
人口 53,021人
(男24,937人 女28,084人)
世帯数 22,627
高齢化率 37.3%

豊後高田市
面積 206.24km²
人口 21,941人
(男10,435人 女11,506人)
世帯数 9,851
高齢化率 39.2%

北部保健所

北部保健所
豊後高田保健部

◆北部保健所

中津市中央町1-10-42
電話 0979-22-2210
FAX 0979-22-2211
e-mail a12089@pref.oita.lg.jp

◆北部保健所豊後高田保健部

豊後高田市是永町39
電話 0978-22-3165
FAX 0978-22-2684
e-mail a12091@pref.oita.lg.jp

資料:大分県統計調査課「大分県の人口推計」(令和2年10月1日現在)

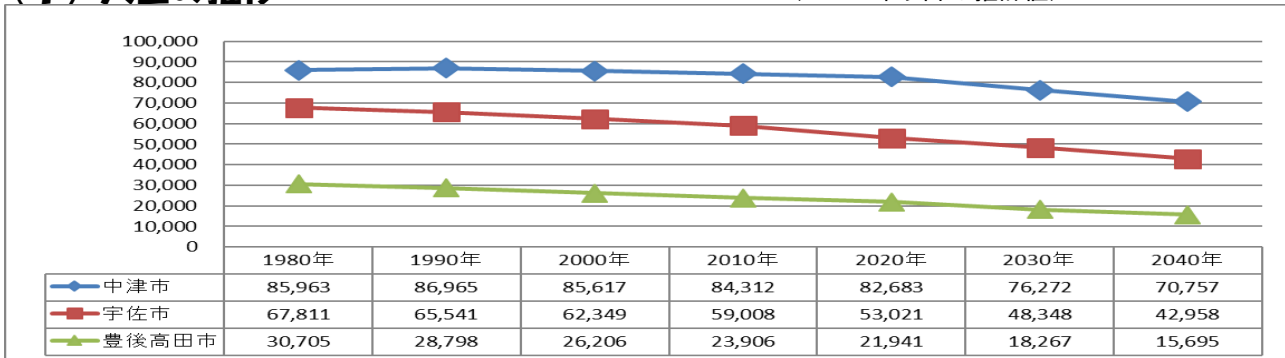
国土地理院「令和2年全国都道府県市区町村別面積調」

高齢化率は年齢不詳を除く人口のうち65歳以上の割合を、大分県福祉保健企画課で算出

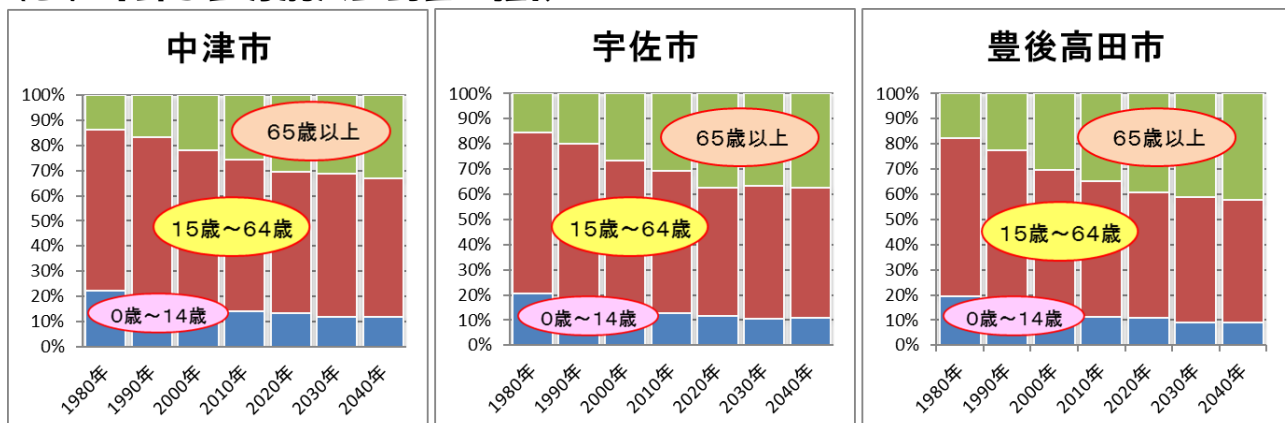
2 人口

(1) 人口の推移

(2030年以降は推計値)



(2) 年齢3区分別人口割合の推移



資料:昭和55年~平成22年 総務省統計局「国勢調査」

2020年~2040年 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

人口は、年々減少し、今後も減少が続くと予想されています。
年齢3区分別人口割合の推移をみると、老年人口(65歳以上の人口)は増加する一方、年少人口(0~14歳の人口)は減少しており、今後も少子高齢化が進んでいくことが予測されます。
また、15歳~64歳の社会を支える世代の人口である生産年齢人口も徐々に減少しています。



3 人口動態

(1) 出生数・死亡数（令和元年）

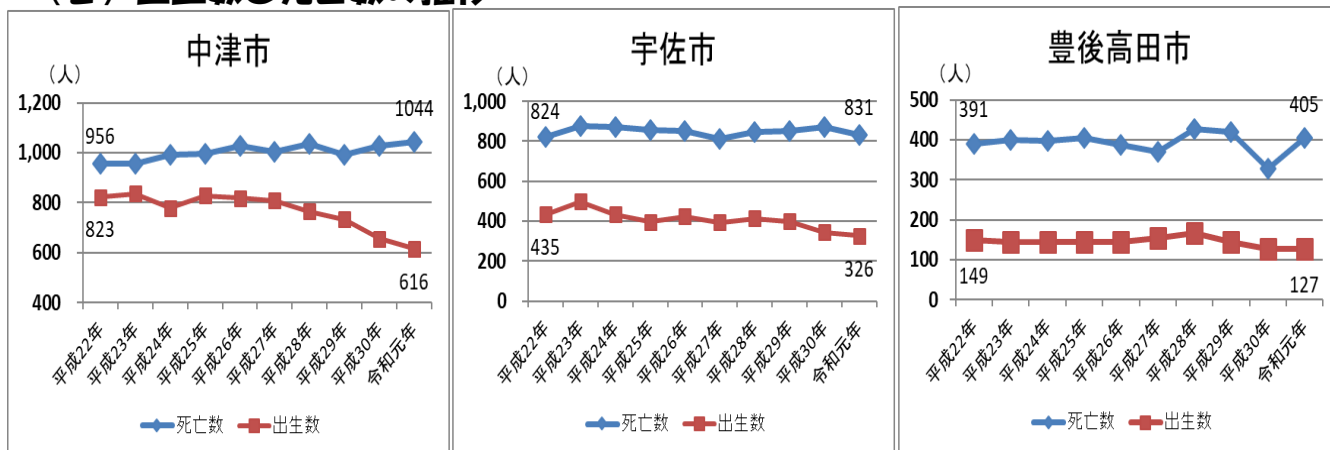
令和元年

令和元年	出生				死亡	
	出生数 (実数)	出生率 (人口千対)	出生数 2,500g未満 (再掲)	合計特殊 出生率	死亡数 (実数)	死亡率 (人口千対)
大分県	7,624	6.8	767	1.57	14,614	13.0
中津市	616	7.5	71	1.81	1,044	12.7
宇佐市	326	6.1	39	1.65	831	15.6
豊後高田市	127	5.9	15	1.61	405	18.7

資料：厚生労働省「人口動態統計」

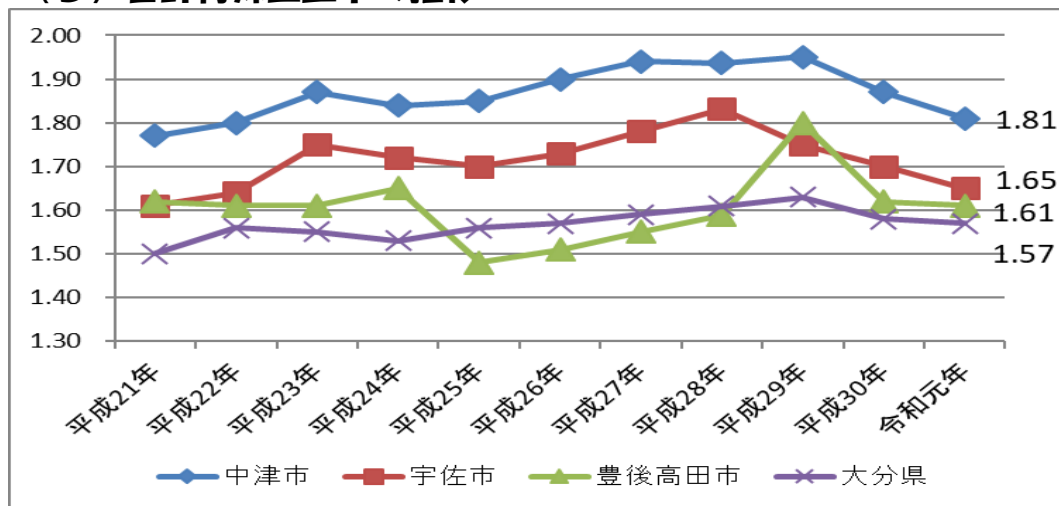
市の合計特殊出生率は大分県福祉保健企画課調べ（H27年～R1年の平均）

(2) 出生数と死亡数の推移



中津市の人口千人あたりの死亡率は県平均と同程度ですが、出生率は県平均より高くなっています。
 宇佐市、豊後高田市は、県平均に比べて人口千人あたりの死亡率が高く、出生率は低くなっています。
 出生数と死亡数の年次推移を見ると、各市とも死亡数が出生数を上回っており、人口の自然減の状況が続いています。

(3) 合計特殊出生率の推移



合計特殊出生率は、1人の女性が一生の間に生む子どもの数をあらわす指標で、人口を維持するためには、2.07以上が必要です。
 最新の合計特殊出生率は、中津市1.81、宇佐市1.65、豊後高田市1.61であり、人口を維持する値には、至っていないのが現状です。



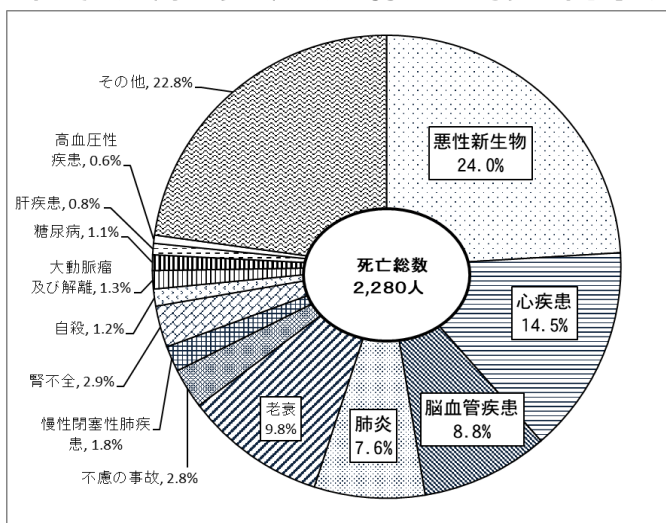
(4) 主要死因別死亡数・死亡率（人口10万対）

令和元年

死因名	全国		大分県		管内		中津市		宇佐市		豊後高田市	
	率	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率	実数	率
死亡総数	1116.2	1301.3	2,280	1435.8	1,044	1272.0	831	1556.6	405	1865.8		
悪性新生物	304.2	326.4	548	345.1	259	315.6	197	369.0	92	423.8		
心疾患	167.9	191.1	331	208.4	160	194.9	96	179.8	75	345.5		
脳血管疾患	86.1	105.6	201	126.6	91	110.9	77	144.2	33	152.0		
肺炎	77.2	94.9	174	109.6	79	96.3	65	121.8	30	138.2		
老衰	98.5	107.9	223	140.4	112	136.5	83	129.0	28	155.5		
不慮の事故	31.7	41.6	64	40.3	24	29.2	29	54.3	11	50.7		
慢性閉塞性肺疾患	14.4	19.9	41	25.8	18	21.9	16	32.2	7	30.0		
腎不全	21.5	30.5	66	41.6	23	28.0	33	61.8	10	46.1		
自殺	15.7	15.1	27	17.0	12	14.6	13	24.4	2	9.2		
大動脈瘤及び解離	15.2	16.2	29	18.3	20	24.4	7	13.1	2	9.2		
糖尿病	11.2	12.9	25	15.7	15	18.3	8	15.0	2	9.2		
肝疾患	14.0	13.9	18	11.3	10	12.2	4	7.5	4	18.4		
高血圧性疾患	7.7	7.9	13	8.2	10	12.2	2	3.7	1	4.6		
結核	1.8	1.8	5	3.1	4	4.9	-	-	1	4.6		
喘息	1.2	2.7	6	3.8	3	3.7	3	5.6	-	-		

資料：厚生労働省「人口動態統計」

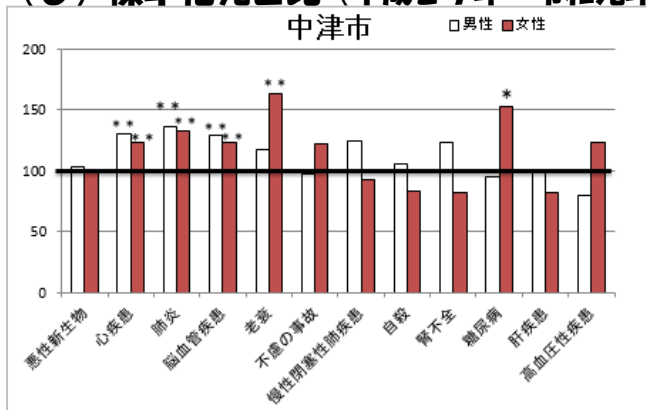
(5) 管内の主要死因別死亡割合（令和元年）



管内の死因別死亡割合は、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患が高く、この3疾患で約半数を占めています。続いて、老衰、肺炎の順となっています。

死亡の状況は、人口規模や年齢構成に影響されるので、地域毎の比較をする場合は、年齢構成の差を取り除いた「標準化死亡比(SMR)」を用います。標準化死亡比(SMR)は、全国を100として、100より大きいときは、その地域の死亡状況が全国より悪く、死亡率が高いということになります。

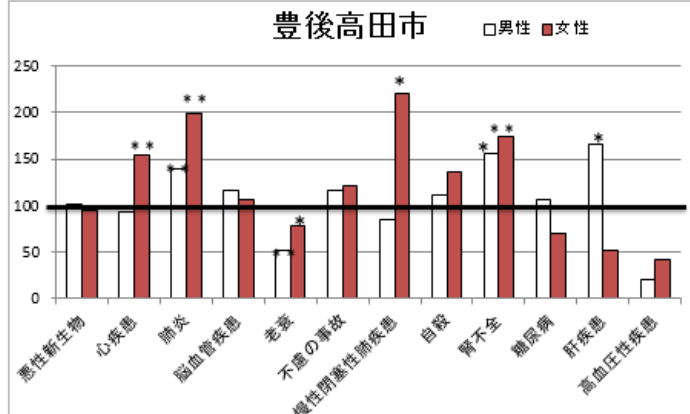
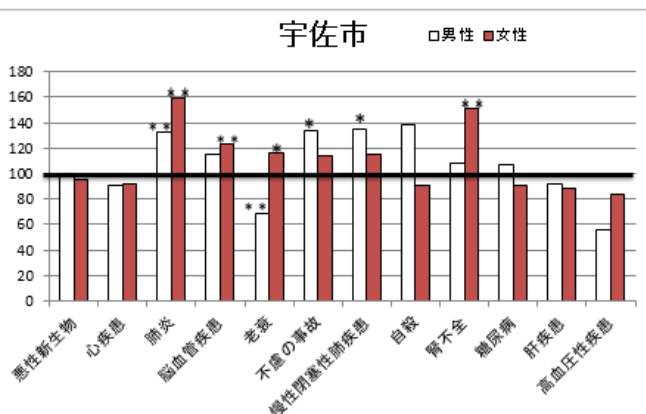
(6) 標準化死亡比（平成27年～令和元年の平均）



管内の各市の標準化死亡比(SMR)は表をご覧ください。



- * 5%の危険率で有意に期待死亡率と差がある
- ** 1%の危険率で有意に期待死亡率と差がある

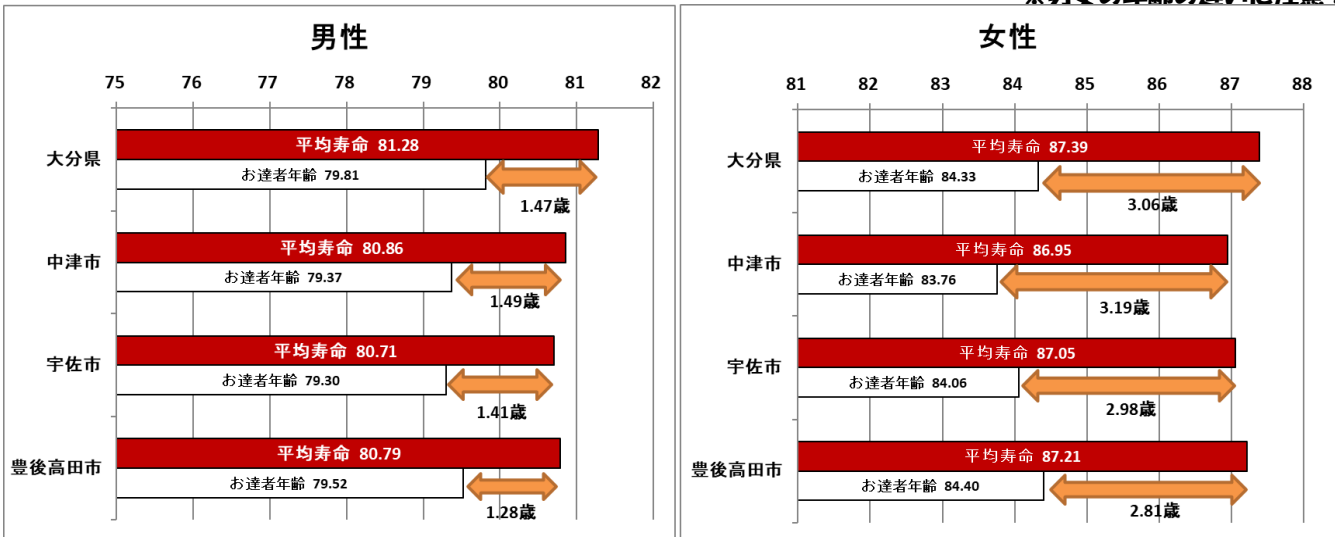


資料：厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計（値はH27年～令和元年の平均）

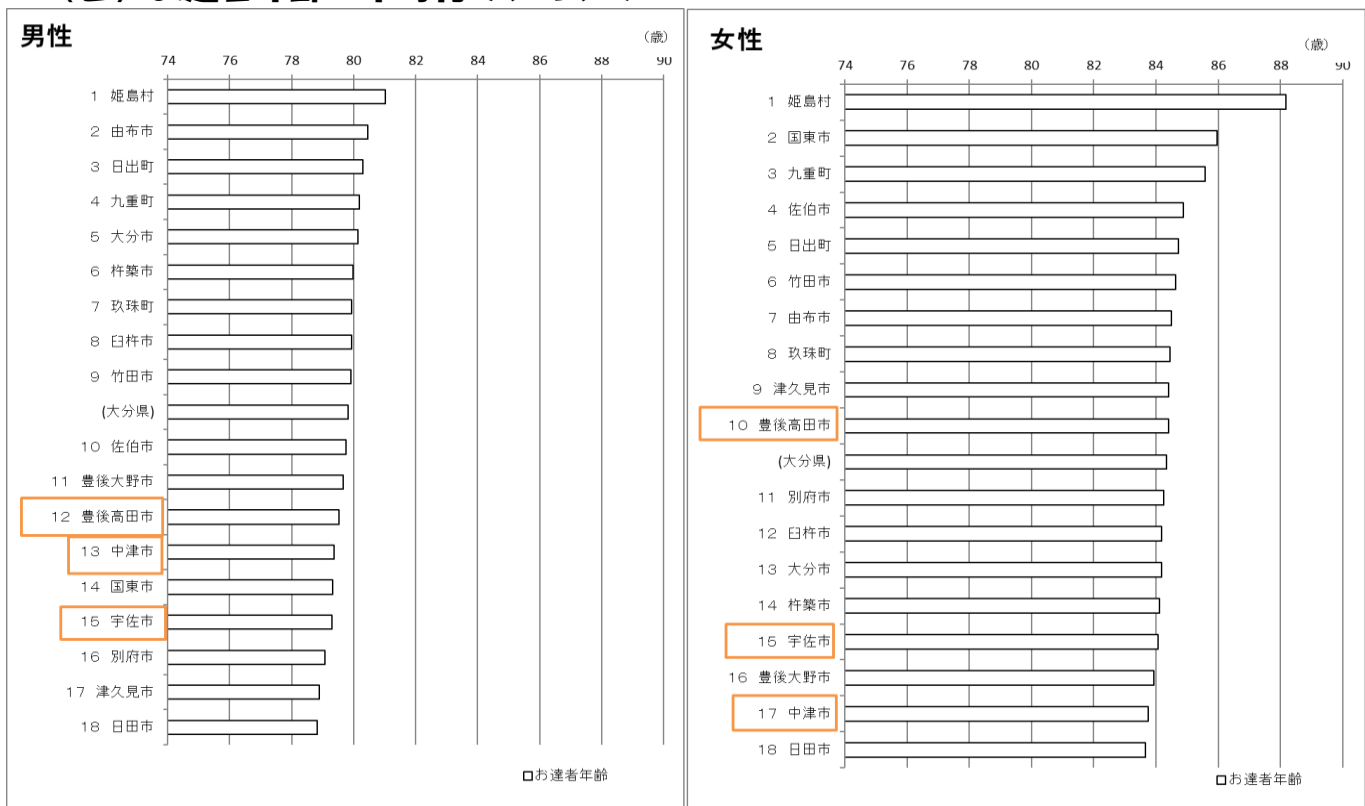
4 平均寿命とお達者年齢（平成27年～令和元年の平均）

(1) 管内各市の平均寿命とお達者年齢

平均寿命とお達者年齢の差 ※男女の年齢の違いに注意！



(2) お達者年齢 市町村ランキング



資料：厚生労働省「人口動態調査」の調査票情報を利用し大分県健康指標計算システムで集計（値はH27年～令和元年の平均）

「平均寿命」は、0歳の子どもが何年生きられるか(0歳児の平均余命)をあらわします。都道府県及び市町村の平均寿命は5年毎に国が算出していますが、大分県では独自に、県の値と市町村の値を毎年算出し、公表しています。

「健康寿命」は、健康で過ごせる期間を示したものです。国では、国民生活基礎調査の結果を基に、「日常生活に制限のない期間」を健康寿命として、3年に1回都道府県ごとに公表しています。大分県では、これとは別に介護保険の「要介護2以上の認定を受けていない方」を健康と定義し、これに基づいた「お達者年齢」を毎年算出して、市町村ごとに公表しています。

「平均寿命とお達者年齢の差」は、日常生活動作が自立していない期間を意味します。管内各市では、お達者年齢、平均寿命ともに女性の方が男性よりも長くなっています。また、平均寿命とお達者年齢の差は男性で1.2～1.5歳前後、女性で3歳前後です。

～ 高齢になっても元気で過ごすためには、若い頃からの健康づくりや生活習慣病予防、高齢者の介護予防などが大切です。

お達者年齢も平均寿命も延ばして、元気で長寿な地域を目指しましょう！ ～

